

**「デジタル田園都市国家構想の実現に向けた第3期広尾町総合戦略（案）」  
に対するまちづくり意見公募の結果**

募 集 期 間	令和5年10月11日(水) ~ 10月31日(火)		
意 見 の 件 数	2件(1人)	意 見 の 受 取 方 法	FAX

No.	町民の意見の概要	該当箇所	町の考え方	原案の修正
1	<p>移住者を増やす項目で</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広尾の産品(高校生考案のものを含む)を使った飲食店開業を目指す方に優遇措置を設ける</li> <li>・移住までに結びつかなくても、デジタル技術をもつ広尾出身の方から町の課題を解決するために協力、連携してくれる方を探す。親がまだ広尾に在住しているのなら、保健福祉課と連携し、見守りサービス(定期的にご両親の様子を伝える)を提供</li> </ul>	<p>政策分野2</p> <p>海と山が溶け込むまち・広尾はあなたを待っています</p>	<p>現在、町内の飲食店は事業主の高齢化による店舗数の減少が進んでおり、町としても起業家等支援事業などにより起業の促進を図ってきましたが、起業目的での移住まではつながっていない状況です。町産品を使用した飲食店の起業家に対する優遇措置については、町外に制度をPRすることによる移住者増の可能性を期待できることから、既存の支援事業の項目に追加するなど検討していきたいと考えます。(水産商工観光課)</p> <p>現在、広尾町でも第3期広尾町総合戦略においてデジタル施策を検討すべく NTT 東日本の協力のもと若手職員を主体とした「デジタル施策検討部会」を立ち上げ、取組を進めているところです。今後進むデジタル化に対応していくため、デジタル技術を持っている方との連携も必要であると考えますので、広尾町出身者に限らず、職員採用や連携・協力について検討します。</p> <p>親の見守りサービス提供は今後の施策検討の参考にさせていただきます。(企画課)</p>	なし
2	<p>デジタルを活用した取組</p> <p>デジタル施策の中にLINEを使用するお考えはありますか。</p> <p>急速に他町村(全国的)で広まり、具体例、参考になる取組はネット上で見られ</p>	<p>政策分野4</p> <p>まちを知り、まちに関わる人を育て、まちの魅力を発信する</p> <p>ほか</p>	<p>住民への情報発信など行政での LINE 活用事例も増えてきています。多くの人にすばやく情報を伝えることができるなど多くのメリットがある反面、スマートフォンの利用が苦手な高齢者には不向きな面があるなどデメリットもあります。</p> <p>広尾町では、社会福祉協議会が主体とな</p>	なし

No.	町民の意見の概要	該当箇所	町の考え方	原案の修正
	<p>ます。町と町民の双方向にとってメリットが多く作用する気がします。</p> <p>スマホを使用するのが苦手な方へは、町内会やサークル単位など細かくお伝えする方法を考えていただけると、多くの方がサービスを利用できると思います。ボランティアの方(スマホを教えてあげられる方を含む)も増やせる取組をお願いしたい。どんな方法だとボランティアができるかヒアリングも必要かと思えます。</p>		<p>り高齢者に対するスマートフォン講習会を実施しています。社会のデジタル化が進み、スマートフォンで様々なサービスを利用できるようになっていることから、今後は町内会やサークル単位などきめ細やかな対応が必要になってくると考えます。</p> <p>ボランティア活動の担い手不足もまちの大きな課題となっており、担い手を確保するため効果的な方法を検討していきます。(企画課)</p>	